

⑥5 岩手県大槌町大ケ口地区における災害公営住宅の整備

大槌町
 受賞機関 独立行政法人都市再生機構 東日本賃貸住宅本部
 独立行政法人都市再生機構 岩手震災復興支援本部

<評価>

浸水被害に遭った町営住宅の土地を利用していち早く建設に着手し、大槌町における入居第1号となった災害公営住宅。大槌町らしい風景・記憶の再生のため低層の和風建築として里山の景観に配慮した点、またコミュニティの再生のため団地中央に交流広場と井戸ポンプを配置して住民の交流促進を図った点が評価された。

はじめに

岩手県上閉伊郡大槌町は、町役場などがあった地域を含めてその生活の基盤の多くを失った町である。そのため、仮設住宅に住まわれる多くの方々に対して早期に災害公営住宅が建設される必要がある。当住宅は、浸水被害に遭った町営住宅の土地を敷地として利用していち早く着工し、大槌町における入居第1号となった災害公営住宅である。そのため、復興のシンボルとして『コミュニティ形成』と『地域に馴染む景観形成』の設えが必要と考えた。

事業の概要・成果

入居される方々は、仮設住宅から転居される方ばかりであり、居住者同士の交流を促す目的として敷地の中心に交流広場を配置し、子どもから高齢の方までが普段から顔を合わせてくつろげるような空間の設えを持たせた。また、既存市街地の中に位置するため、『地域とのつながり』の結節点を持たせるべく敷地の入り口に集会場を設け、入居者の利用のみならず地域のサークル活動の利用を受け止められるように配慮した。また、大ケ口地区周辺は、和風木



団地中央の交流広場 大槌町大ケ口

造戸建が多く立地する地域であり、大槌町の特徴である澄んだ湧水や井戸水が豊富な地域である。そのため、地域の原風景と美しい里山に馴染むように低層の和風住宅の設えとし、地元産材を積極的に活用して街並みの形成に配慮した。同時に、旧来から続く地区の街並みへの寄与を目的とし、かつてあった大槌らしさや記憶の再生として水のある空間の演出をするべく、中央広場に井戸水の汲上げポンプを設置し、交流のきっかけづくりとなるよう配慮した。

おわりに

復興の歩みを着実にするべく、災害公営住宅にて新しい生活を始められる入居者の方々のみならず、地域の方々にも愛されるような災害公営住宅を提供できるよう邁進していきたい。

⑥6 大船渡市災害公営住宅整備地区における入居者交流会および地元小中学生とのふれあいイベントを通じたコミュニティ形成支援の実施

大船渡市
 受賞機関 国立大学法人岩手大学 三陸復興・地域創生推進機構
 独立行政法人都市再生機構 岩手震災復興支援本部

<評価>

仮設住宅から自立を求められる災害公営住宅への移転に対し不安に思う住民に対して、入居者間や周辺地域とのコミュニティ形成、自治組織の形成、さらに次世代の復興を担う人材育成への支援・貢献等を目的にさまざまな取組みを実施した。市、大学、URが連携し、コミュニティ形成を支援するとともに、地元小中学校の復興教育やキャリア教育にも貢献している点が評価された。

はじめに

東日本大震災により甚大な被害を受けた岩手県大船渡市から、都市再生機構（以下、「UR」という）は14地区227戸の災害公営住宅の建設要請を受け、現在までに13地区177戸が完成、平成28年度上期には全戸完成予定である。

応急仮設住宅から本設の災害公営住宅へ移転した方々から、ようやく本設の住宅で落ち着いた生活が送れることへの喜びの声が聞こえてくる一方で、「家からあまり出なくなった」「周りの人と話す機会がほとんどない」など、入居者間のコミュニティや地域との関わりが薄いことへの不安の声が聞こえてきた。そこで、URは大船渡市、岩手大学と連携し、災害公営住宅の入居者間や周辺地域とのコミュニティ形成、自治組織の形成、さらに次世代の復興を担う人材育成への支援・貢献等を目的にさまざまな取組みを実施している。

事業の概要・成果

赤沢、上山、宇津野沢、平林各地区の災害公営住宅集会

所において、地域の公民館長も交えた、顔合わせ懇親会を実施。自治組織の形成、入居者間交流のきっかけとし、入居者の主体性を重視した支援が、集会所を利用した書道教室、花壇を活用した花植えなど、入居者の自主的イベントに発展した。



懇親会の様子 大船渡市平団地

また、災害公営住宅に隣接する小中学校の生徒を対象に、社会科見学を実施した。小学校生徒に対しては、災害公営住宅に関する講義や住宅の見学ツアーをクイズ等も交えながら実施。加えて、中学校生徒には入居者の方々とのおふれあい・交流について考えてもらい、アイデアを発表してもらった。復興に携わる方々及び建設業について、また災害公営住宅及び入居者の方々に対する関心を持つきっかけとした。

おわりに

今後も、住宅の建設だけではなく入居者の方々と地域をつなぐ支援にも力を入れ、新たに入居される方々が、安心して暮らせるための支援を行っていきたい。